教職員のみ

学校番号	１０７

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書道Ⅰ」「臨書サポートブック」（大修館書店）						
副教材等	「ペン習字の基礎」　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校，中学校国語科書写の授業で学んだことを発展させ，芸術科書道では文字の表情の違いによる表現の違い等を学びます。
・漢字の書から，漢字仮名交じりの書，仮名の書等を体験し，自分らしい文字を書くことができるようになることを目指します。
・書の美しさを感じ取る鑑賞の基礎的な能力を養い，幅広い感性，鑑賞力を身に付けます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力・判断力・表現力等】書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通じて心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに，書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に着け，表している。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

教職員のみ

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	書へのいざない	・書写から書道へ ・用具・用材について ・姿勢・執筆法 ・書体の変遷	a:基本的な姿勢・執筆法を身に付けている。 a:書体の変遷，仮名の誕生について理解している。 b:中学書写での漢字や仮名の学習を振り返り、表現について構想し、工夫している c:書のよさや意義について，意欲的に取り組もうとしている。	プリント	作品 プリント	観察 プリント
	漢字の書	・楷書の古典に学ぶ ◆孔子廟堂碑 ◆九成宮醴泉銘 ◆雁塔聖教序 ◆顔氏家廟碑 ◆牛橛造像記 ・うちわ作品制作 ・行書の古典に学ぶ ◆蘭亭序	a:古典の特徴と表現効果との関わり，書体や書風と用筆・運筆との関わりについて，理解している。 a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a:書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために，必要な技術を身に付けている。 b:古典のよさや美しさを感受し，意図に基づいて，構想し，古典の特徴や書風に即した，用筆，運筆，字形などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	プリント 観察

教職員のみ

後期	篆刻	・篆刻・印を刻る	a:篆刻の技法を理解し，姓名印を刻す技能を身に付けている。 b:篆刻の技法を学び，自らの意図に基づいて表現を構想し工夫している。 c:落款の意味とその役割について関心を持っている。 c:篆刻に関心を持ち，意欲的に取り組もうとしている。	作品	プリント	プリント 観察
	漢字かな交じりの書	・漢字かな交じりの書の学習をはじめよう ・自分らしい表現を求めて ・生活の中の書 ・カレンダー作品	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり，名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:線質，字形，構成の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a:目的や用途に即した効果的な表現，漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。 b:漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ，全体の構成，目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現，名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し，工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用性について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:自身の表現の意図に基づく表現，漢字かな交じりに書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしてる。	作品	プリント	プリント 観察

教職員のみ

	かなの書	・仮名の成立 ・いろは歌 ・字源 ・変体仮名 ◆蓬莱切	a:古典の特徴と表現効果との関わり，書風と用筆・運筆との関わりについて，理解している。 a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。 a:書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために，必要な技術を身に付けている。 b:古典のよさや美しさを感受し，意図に基づいて，構想し，古典の特徴や書風に即した，用筆，運筆，字形，墨継ぎなどを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。 c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し，作品や書の意味や価値について考えながら，幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	作品	プリント	プリント 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度